

## 1 登下校について

- (1) 登校、下校の時は必ず決められた通学路を通る。
- (2) 正門および東門から登下校をし、校庭は使わない。
- (3) 道路を歩くときは、交通のルール、マナーをきちんと守る。
- (4) 道路を横切るときは、横断歩道や信号機のあるところをわたる。特に、自治会館前
- (5) 登校は特別用のない限り、7時50分から8時15分頃までにする。  
(始業時刻8:20)
- (6) 下校は、方面ごとに集団で帰る。下校時刻の5分前には昇降口に集合し、下校時刻までは校門を出るようにする。  
(曜日原則高学年) 月・火・木・金 → 4:00 水 → 3:20
- ※1 5時間授業 → 3:20 6時間授業 → 4:00
- ※2 児童会の仕事などで遅れるときは必ず担任の先生に知らせておく。
- (7) 下校は、道草をせずまっすぐ帰る。用事でどこかへ寄る時は、必ず担任の先生に申し出る。
- (8) バス通学の人は10分前にはバス停に行き、一列に並んで静かに待つ。
- (9) バスの中では乗車のマナーを守り、他のお客さんに迷惑をかけないようにする。

## 2 校内生活について

- (1) 安全な生活
- ① 廊下や階段は右側を歩き、走らない。
- ② 教室や廊下で、物を投げたり悪ふざけをしたりしない。
- ③ 階段の手すりを滑らない。
- ④ ベランダで遊んだり、窓やベランダから体をのり出したりしない。
- ⑤ 火災報知器・消火栓・スイッチなどに手を触れない。
- ⑥ 校庭の遊具で悪ふざけをしないようにする。
- ⑦ 校内のフェンスや柵にのったり、のり越えたりしない。
- ⑧ バットを使ってよいのは先生が一緒の時に、安全に気をつけて使う。
- ⑨ ボールは体育館か校庭で使い、教室や廊下では使わない。蹴りながら移動しない。
- (2) きまりよい生活
- ① 身だしなみは、学習活動の支障にならない小学生らしいものにする。(髪を染める・丈が短すぎるスカート等も含む)
- ② 登校したら、無断で校地外に出ない。
- ③ 校内では名札を左胸につけ、校外に出るとき、下校するときには外す。
- ④ 上履きは、決めた物を使用し、下履きとの区別をはっきりさせる。
- ⑤ 履き物は、決められた場所にかかとを手前にそろえて入れる。

- ⑥ 用具を使った後は次に使う人の事を考えて、きちんと元の位置に返しておく。
- ⑦ 学校のを誤って壊した場合にはすぐに先生に知らせる。
- ⑧ 次の場所へは勝手に入ったり、そこで遊んだりしない。  
 体育館のステージや器具室 運動用具置き場 特別教室 階段下電気室  
 コンテナ室と入り口 2・3階のベランダ プールの敷地内
- ⑨ チャイムや放送の合図があったらすばやく行動する。
- ⑩ 金銭・遊び用具など、学習に必要な物はない物は、担任の許可なく持ってこない。
- ⑪ 傘は置き傘として一本は教室に置き、下駄箱の傘は、その日に必ず持ち帰る。

### (3) 学習で使うもの

- ① 学習に必要なものは持ってきてはいけません。(ねりけし、多色ボールペン、シャープペンシル、バトル鉛筆、においつきのペンなど、授業中に遊んでしまうようなものは、持ってきません。)
- ② 筆箱は使いやすいシンプルなものを使う。(キーホルダーやマスコット、アクセサリなどの装飾品はつけない。)
- ③ 必要な文房具を準備しておく。(定規、三角定規、分度器、はさみ、のり、コンパス、下敷き、色鉛筆(クーピー)など、学年に合わせて準備しておきましょう。)
- ④ 筆箱の中身は、  
 低学年：「鉛筆3本・赤鉛筆 ・消しゴム・ミニ定規(12cmくらい)」  
 高学年：「鉛筆5本・赤鉛筆か赤ペン・消しゴム・ミニ定規(12cmくらい) ・蛍光ペン(2色まで)・色ペン(2色まで)・ネームペン」を基本とする。  
 その他のものについては、担任の先生と相談の上、各クラスで決める。

## 3 校外生活について

### (1) 自転車乗り

- ① 自転車に乗るときは必ずヘルメットをかぶる。
- ② 道路で自転車乗り遊びは絶対にしない。
- ③ 自分の体にあつた自転車に乗る。(ドロップハンドルはいけない)
- ④ ブレーキやハンドルなど、きちんと整備したものに乗り。
- ⑤ 道は左側を走り、曲がり角や危険な場所ではきちんと止まり、安全を確かめてから乗る。  
 \* 押して歩くときは右側を歩く。  
 \* 横断歩道は、自転車から降りて押してわたる。
- ⑥ 雪道での自転車乗りはしない。

### (2) 遊び

- ① よい遊び場所を町ごとに選び、危険な場所では遊ばない。
- ② 休みの日には、勉強を朝のうちに済ませてから遊ぶ。
- ③ 授業のある日には、家へきちんとカバンをおいてから遊びに出る。
- ④ 学区外への外出は、保護者の責任のもとにおこなう。
- ⑤ 外出するときは、行く場所、帰る時刻、一緒に行く友だちなどを、家の人によく話してから出かける。
- ⑥ 子どもだけで遊んでいるときには、おそくならないうちに家へ帰る。  
 帰宅時刻      4月～9月・・・6時  
                      10月・・・5時  
                      11月～2月・・・4時30分  
                      3月・・・5時
- ⑦ 危険な遊び（石投げ・火遊びなど）は、しない。
- ⑧ おやつは家で食べ、校庭や道路では食べない。（買い食いをしない）
- ⑨ 農作物を取ったりいためたりしない。また、消毒の時期には果樹園に近づかない。
- ⑩ 裾花川、犀川、千曲川などの川や池へ、子どもだけで釣りに行ったり、遊びに行ったりしない。

### (3) その他

- ① ゲームセンター・映画館・デパート・カラオケ・うるおい館（温泉）などの商業施設、催し物などへは、子どもだけでは行かない。
- ② 映画館・図書館・公民館・デパート・公園・遊園地など、人の集まる場所では他人の迷惑にならないようにする。
- ③ 知らない人に誘われても、ついていかない。
- ④ お金のむだづかいや、友だちどうしのおごりっこはしない。
- ⑤ 必要のないお金は持ち歩かない。
- ⑥ 用もないのに子どもだけで店に出入りしない。
- ⑦ 児童会や育成会で決めたことはよく守る。（注意されたら素直に聞く）
- ⑧ 挨拶や返事は気持ちよくする。
- ⑨ 事故にあったときは、すぐ近くの家へ知らせ、同時に学校へも連絡してもらう。
- ⑩ お家の方が留守の家に子どもだけであがりこんで遊ばない。
- ⑪ 5・6年生は子どもだけで市立図書館を利用してもよい。自転車で行ってはいけない。
- ⑫ 家庭でのインターネットや、携帯電話、スマートフォン、ゲーム機などの利用は、お家の方と時間や使い方、相談して使うようにする。
- ⑬ 自分の持ち物には必ず名前を書き、大事に使う。

## 4 長期休業中の過ごし方

### (1) 夏休み

- ① 暑あつさに負まけず、進すすんで目当めあてのある休やすみにする。  
 \*家いえの人ひとと相談そうだんして休やすみにふさわしい計けい画かくを立て、決きまりよく過すぎます。  
 \*日に記じをつけ、一いち日にちの反はん省せいをする。  
 \*学がく習しゅうは朝あさの涼すずしいうちに済すませる。

- ② 運うん動どうをして、体からだを鍛きたえる。  
 \*体からだの悪わるいところは休やすみ中ちゅうに治なおす。  
 \*プーきルは決きまりをまもって楽たのしく泳およぐ。  
 ・PかたTたAたの方せんや先せい生いの注ちゅう意いをよく聞きいて泳およぐ。  
 ・水すい泳えいが終おわつたら、プーそうルの掃じ除かえをきちんとして帰かえる。  
 ・学がっ校こう以外がいのプーいルに行いくときは、大おと人なのひとに連つれて行いってもらいうようにし、  
 水みず着ぎに、住じゅう所しょ、氏し名めい、血けつ液えき型がたがわたかる表ひょう示じをしておく。  
 ③ 安あん全ぜんで、決きまりよい生活せいかつをする。  
 \*花はな火びは家いえの人ひととやり、人ひとの迷めい惑わくにならないようにする。後あと始しま末まつもしっかりする。  
 \*盆ぼん踊おどり、夏なつ祭まつり、映えい画がなどへは家いえの人ひとと行いく。

## (2) 冬ふゆ休やすみ

- ① 新あたらしい年としの希き望ぼうや目当めあてをはきりさせる。  
 \*家いえの人ひとと話はなし合あって、お正しょう月がつや冬ふゆの生せい活かつにふさわしい計けい画かくを立てる。  
 \*計けい画かくに従したがって、進すすんでお手て伝つだいや学がく習しゅうをする。  
 \*日に記じをつけ、一いち日にちの反はん省せいをする。  
 ② 健けん康こうで安あん全ぜんな生せい活かつをする。  
 \*外そとから帰かえつたらうがいや手て洗せんいをし、風かぜ邪ぜをひかないようにする。  
 \*雪ゆきや雨あめで道みちが滑すべるときは自じてん転しゃ車のに乗のらない。  
 \*スすキー・スすケートなどへは、うちのひとと一いっ緒しょに行いき、けがないようにやる。  
 ③ 落おち着ついて決きまりよい生活せいかつをする。  
 \*お年とし玉たまなどいただいたら、うちのひとと相そう談だんして無む駄だ遣づかいをしないようにする。  
 \*火ひの用よう心じんに心こころがけ、火か事じをおこさない。

## (3) 春はる休やすみ

- ① 一いち年ねんの反はん省せいやまとめをし、新しん学がく年ねんの準じゅん備びや心こころ構がまえをする。  
 \*使つかった学がく用よう品ひんを整せい理りし、ななくなった物もので使つかう物ものは補ほ充じゅうしておく。  
 \*自じ分ぶんの部ぶ屋や机つくえの上うへ、引ひき出だしの中なかを整せい理りしておく。  
 \*家いえの人ひとと話はなし合あって、新あたらしい学がく年ねんの目め標ひょうを立てたりお手て伝つだいや学がく習しゅうの計けい画かくをたてたりする。  
 \*日に記じをつけ、一いち日にちの反はん省せいをする。  
 ② 安あん全ぜんで、決きまりよい生活せいかつをする。

\*火の用心に心がけ、火事をおこさない。